

効果の出る保健指導のための人材育成とは

## 都道府県の事例[群馬県]

群馬県 健康福祉部 保健予防課  
生活習慣病対策係 島田純子



### 特定健診・保健指導の推進体制

#### ■ 平成19年度

保健予防課に生活習慣病対策係が新設

〔係長(事務)、保健師、管理栄養士、事務職 計4名〕

国保援護課、国民健康保険団体連合会と連携しながら「特定健診・特定保健指導」の体制づくりの支援を実施

## 平成19・20・21年度に実施した研修

研 修 名	平成19	平成20	平成21
特定健診・保健指導実践者(基礎編)育成研修	2回	—	
特定健診・保健指導実践者(計画・評価編)育成研修	2回	—	
特定健診・保健指導実践者(技術編)育成研修Ⅰ	1回 のべ5日	1回	1回
特定健診・保健指導実践者(技術編)育成研修Ⅱ	2回 のべ6日		
特定保健指導実践者研修会 ※	—	4回	2回
特定健診・保健指導実践者(喫煙編)研修	—	1回	1回
特定保健指導実践者研修会(運動編)			1回
糖尿病予防対策研修会			1回
ポピュレーションアプローチ研修会 ※			1回
特定保健指導実践者研修会(基礎編—コーチング)			1回

※ 群馬県保健予防課・群馬県国民保険団体連合会の共催で実施

## 平成19・20・21年度修了証書交付者数

### 特定健診・保健指導実践者(基礎編)研修

年度	交付者数
平成19	418名 (医師47名、保健師154名、管理栄養士72名、 看護師114名、その他31名)

### 特定健診・保健指導実践者(技術編)研修

年度	交付者数
平成19	1,115名 (医師425名、保健師383名、管理栄養士 153名、看護師150名、その他4名)
平成20	234名 (医師49名、保健師77名、管理栄養士42名、看護師66名)
平成21	114名 (医師7名、保健師59名、管理栄養士26名、看護師22名)

## 特定健診・保健指導実践者(技術編)育成研修について

### ■ 研修の目的

「標準的な健診・保健指導プログラム」をふまえた特定保健指導を実施できる人材を育成する。

### ■ 研修の対象

研修ガイドラインに基づき、都道府県が研修対象とする市町村、民間事業者等の医師、保健師、管理栄養士、一定の実務経験のある看護師。

## アンケート調査

### ■ 調査方法

研修参加者に、研修受講前後に保健指導の知識・技術の習得状況に関する無記名自記式アンケート調査を行った。

### ■ 調査内容

「研修ガイドライン」を参考に、研修内容を加味して調査票を作成した。

1) 受講者の背景(職種、所属機関、生活習慣病の保健指導経験の有無)

2) 保健指導の知識・技術の習得状況及び今後の強化・習得希望の有無

3) 知識・技術の習得状況は、主観的評価により知識・技術が高いほうから順に5から1までの5段階とした。

## 平成19年度～21年度に実施した特定健診・ 保健指導実践者(技術編)育成研修の結果

### ○共通の内容

1. 研修受講後の平均得点は、受講前と比較して全ての項目で高くなっていた。
2. 研修受講後においても各項目の平均得点は、2～3であり、まだ知識・技術に不安があることが多いと推測されるので、さらに段階的に研修を受講できる体制が必要と考えられる。
3. 具体的な保健指導方法、教材の選定、保健指導方法の創意工夫などの技術編やその応用についての平均得点が低い傾向であった。

## 平成19年度～21年度に実施した特定健診・ 保健指導実践者(技術編)育成研修の結果

### ○強化したい項目

(平成19年度)

「評価結果から創意工夫する」「効果的な保健指導の理解」、「身体活動・運動改善の提示」

(平成20年度)

「評価結果から創意工夫する」「身体活動・運動改善の提示」「支援計画を立てる」「教材の改善・開発」

(平成21年度)

「評価結果から創意工夫する」「教材の改善・開発」「保健指導効果の評価」「行動変容につながる保健指導方法の理解」

## 演習やグループワークを取り入れた研修の実施

- 受講者から事前に教材(ワークシート等)の提出
- 特定健診・保健指導に関する調査の実施
- 演習補助者の協力
  - 関係団体、市町村、保健福祉事務所の保健師・管理栄養士
  - 演習補助者が記録・発表を担当
- 演習・グループワークのすすめ方や使用した様式、記録等を冊子としてまとめ、関係者へ送付

## 説明会・意見交換会の実施

- 特定健診・保健指導に係る市町村等説明会  
(平成19年度に実施)
- 特定健診・保健指導の取組状況に係る県・市町村ブロック別意見交換会  
(平成19年度から毎年実施)
  - 群馬県は、5県民局
  - その5カ所で実施



## 意見交換会実施の目的等

○目的

各市町村の特定健診・特定保健指導の取組状況を把握すると共に、市町村が抱えている問題等について意見交換をする。

○実施主体

保健予防課

平成20年度から群馬県国民健康保険団体連合会と共催

○対象者

市町村(国保・保健衛生・介護等担当者)

後期高齢者医療広域連合

県関係(国保援護課・介護高齢課・保健福祉事務所)

## 平成21年度に実施した研修

	研修名	内容	実施形体	参加人数
1	特定健診・保健指導実践者(技術編)育成研修	国が示す研修ガイドラインに沿った研修(9単位)	委託 (財)群馬県健康づくり財団	145
2	特定保健指導実践者研修会(2回)	保健指導の改善につながる評価方法を検討	共催 群馬県国民健康保険団体連合会	76
3	「禁煙支援」ための研修会(特定健診・保健指導実践者(喫煙編)研修)	特定保健指導・職場のタバコ対策で行う禁煙支援のポイント	主催	110
4	特定保健指導実践者研修会(運動編)	エクササイズガイドの活用	委託 NPO法人健康運動指導士会群馬県支部	95
5	糖尿病予防対策研修会	特定健診・特定保健指導に活かす糖尿病対策	主催	67
6	ポピュレーションアプローチ研修会	行列のできる健康講座とチラシの作り方	共催 群馬県国民健康保険団体連合会	82
7	特定保健指導実践者研修会(基礎編ーコーチング編)	コーチングを活用した特定保健指導	主催	41
計				616

## 県における今後に向けての課題(1)

### 効果の出る保健指導の人材育成

- 市町村が抱えている課題の明確化
- 対象者のニーズにあった研修会の企画
  - ・直営で実施する市町村の保健師・管理栄養士などの保健指導の質の向上のためのスキルアップ研修会や事例検討会
  - ・特定保健指導実施機関の保健指導の質の確保のための研修会
- スーパーバイザーの確保

## 県における今後に向けての課題(2)

### 保健指導効果を高めるための支援

- 保険者協議会との情報の共有化
- 広域での普及啓発活動
- できるだけ多くの関係者との取組に対する共感